

水門利用時間の延長について

1. 検討内容

- ・東横堀川水門、道頓堀川水門の利用時間（9時～22時）の延長によるナイトクルーズの促進

2. 検討の背景

- 道頓堀川水辺空間利用における課題への対応
 - 水辺空間全体の年間を通じた恒常的な賑わいの創出
- マーケットサウンディング（H30.1～4実施）における意見
 - 夜間コンテンツの充実
- インバウンドの利用ニーズ
 - 大阪で体験したことのうち、ナイトツアーなどの夜間コンテンツの満足度が高い
 - ナイトクルーズ等のニーズあり

3. 想定される課題

- ①舟運事業者の利用ニーズ
 - 舟運事業者へのアンケート調査（R1.6に実施）
 - ・8事業者より回答あり
 - ・水門利用時間の延長に伴うクルーズの延長について、6事業者が「検討したい」
- ②夜間の航行に伴う、周辺環境への影響（騒音等）
 - アンケートにおいて、一部事業者は騒音対策を課題と認識
 - 船舶航行時の音量について実地調査（外部委託）

4. 今後の進め方（イメージ）

東横堀川・道頓堀川における船舶の音量調査（1月下旬に実施）

調査結果の精査、検証

課題整理、実施内容の検討

試行実施（令和2年夏頃から）

試行実施の結果検証、課題検討・整理等

大きな問題がなければ、令和3年度以降の本格実施をめざす